

1 食品ロス削減推進計画について

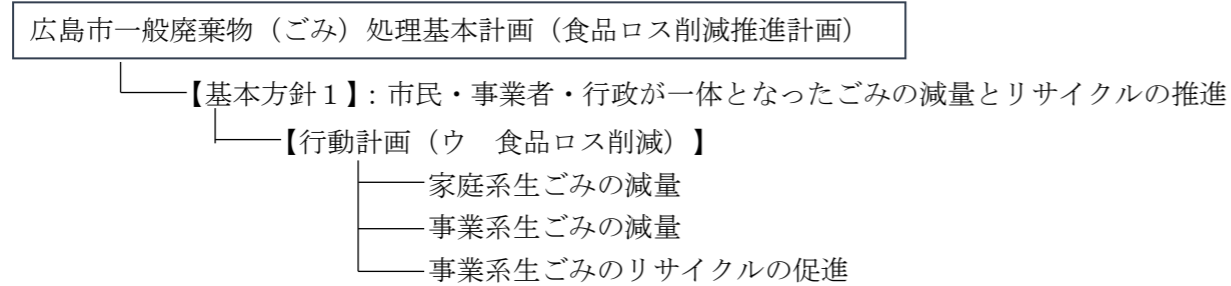
(1) 概要

食品ロス削減推進計画は、本市における食品ロス削減に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和元年10月に施行された食品ロスの削減の推進に関する法律に基づいて定めており、令和3年3月に改定した広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中に位置付けている。

また、現行の食品ロス削減推進計画は、令和5年4月に施行した広島市食品ロス削減推進条例の規定により、同条例に基づいて定められた食品ロス削減推進計画としてみなすこととしている。

(2) 施策展開

食品ロスの削減に関する施策については、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画における「基本方針1：市民・事業者・行政が一体となったごみの減量とリサイクルの推進」に係る行動計画の項目のうち、「ウ 食品ロス削減」に基づいて、3つの観点から展開している。

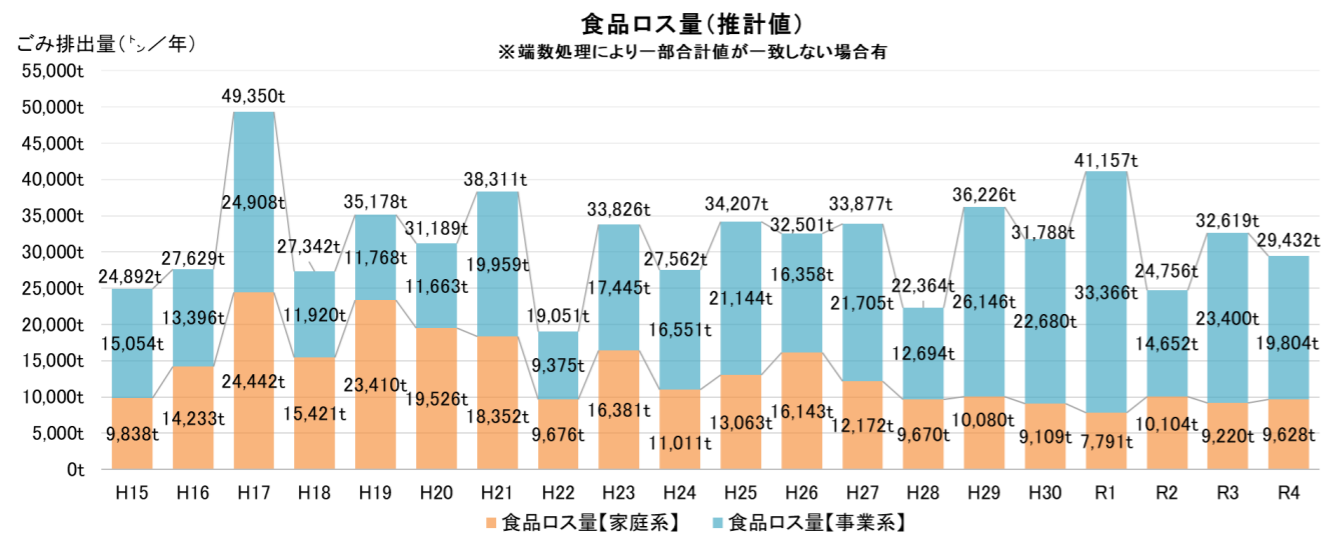


2 実施状況の報告について

広島市食品ロス削減推進条例の第7条6において「市長は、毎年、食品ロス削減推進計画に基づく施策の実施状況を広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会及び市議会に報告するとともに、これを公表するものとする。」とされているため、本審議会及び市議会に食品ロス削減推進計画に基づく施策の実施状況を報告し、公表する。

【参考：本市の食品ロス量の推移】

家庭系	<ul style="list-style-type: none"> 調査開始（平成15年度）～平成26年度の食品ロス量の平均値は約16,000tで、可燃ごみに占める割合が10%を上回る年度が多い 平成27年度～令和4年度の食品ロス量の平均値は約9,700tで、可燃ごみに占める割合は約6～7%で推移 →近年は減少傾向
事業系	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度～令和4年度の食品ロス量の平均値は約18,200tで、可燃ごみに占める割合は約13% 平成25年度以降の値を比較すると、平均値を上回る年度は、量、割合ともに10か年中7か年 →近年は増加傾向



3 令和4年度の施策の実施状況一覧

	食品ロス削減推進計画に記載している施策	令和4年度の実施状況
家庭系生ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・行政の三者協働による食品ロス削減運動の実施 ・エコクッキングの推進 ・家庭系生ごみリサイクル講習会の実施 ・学生等と連携したごみ減量等活動の推進 ・イベントと連携した食品ロス削減の普及啓発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減推進計画に基づく施策 <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ減らそうデー」の実施 ・環境イベント等への出展に合わせたクイズ・フードドライブの実施 ・エコクッキング教室の開催 ・食品ロス削減イベントの開催 ・学生と連携したエコクッキングレシピ・動画作成及びエコクッキング教室の開催 ・環境講座の実施 ・啓発パネル等の啓発物品の貸出 ・ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開 ・ごみ減量・リサイクルに関するチラシ等の作成 ・食品ロス削減推進サポーターの育成 ・「わたしたちの広島」及び「ごみのおはなし」における周知啓発 ・フードバンクに関する周知啓発 ・勉強会の開催 ・フードドライブに関する勉強会の開催 ・食品ロス削減に関する取組の周知啓発 ・生ごみリサイクル講習会の開催 ・家庭系廃食用油の回収の促進 ＜その他の行政分野での関係施策＞ <ul style="list-style-type: none"> ・エコクッキングの実施等・・・・・・・・・・【生涯学習】 ・エコライフ実践講座の実施等・・・・・・・・・・【生涯学習】 ・わ食（和食・輪食・環食）の推進・・・・・・・・・・【保健】 ・食農推進事業・・・・・・・・・・【産業振興】 ・食育リーフレットの作成・・・・・・・・・・【教育】 ・学校における各教科の指導の充実・・・・・・・・・・【教育】 ・エンカル消費の普及啓発・・・・・・・・・・【消費生活】
事業系生ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ残しゼロ推進協力店及び食品ロス削減協力店制度による食品ロスの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクル法の周知を図り、スーパーマーケットや外食産業など食品関連事業者の食品廃棄物の排出抑制やリサイクルを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減推進計画に基づく施策 <ul style="list-style-type: none"> ・「食品ロス削減協力店」の登録・PR ・スーパーマーケット等と連携した「てまえどり運動」の実施 ・外食時の食品ロス削減の推進 ・環境講座の実施（再掲） ・食品ロス削減推進サポーターの育成（再掲） ・フードバンクに関する周知啓発（再掲） ・勉強会の開催（再掲） ＜その他の行政分野での関係施策＞ <ul style="list-style-type: none"> ・商品寄贈による社会福祉貢献活動・・・・・・・・・・【福祉】 ・6次産業化サポート事業・・・・・・・・・・【産業振興】 ・エンカル消費の普及啓発（再掲）・・・・・・・・・・【消費生活】 ・わ食（和食・輪食・環食）の推進（再掲）・・【保健】 ・食農推進事業（再掲）・・・・・・・・・・【産業振興】 ・食育リーフレットの作成（再掲）・・・・・・・・・・【教育】 ・学校における各教科の指導の充実（再掲）・・【教育】
リサイクルの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロスの循環利用システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・手つかず食品等の食品ロスについて、リサイクル技術の研究やモデル事業の実施などを行い、飼料や堆肥等として活用される、循環型の事業システムの構築を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減推進計画に基づく施策 <ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクル・ループ形成に向けた取組 ・食品リサイクル施設の周知

4 家庭系生ごみの減量に関する施策の実施状況

(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策

ア 「ごみ減らそうデー」の実施

毎月1日を「ごみ減らそうデー」とし、スーパーマーケットの店頭でのパネル展示やアンケートの実施等により、買物客に食品ロス削減の取組等と呼びかけた。また、8月にはリサイクル工作教室を同時に開催した。

<実施状況>

- ・ 令和4年度実績：7回（新型コロナウイルス感染症対策のため6月は中止）
- ・ 合計参加者数：635人



イ 環境イベント等への出展に合わせたクイズ・フードドライブの実施

環境をテーマとしたイベント等においてブースを出展し、食品ロス削減等に関するクイズやパネル展示を実施するとともに、フードドライブ（家庭で余っている缶詰やレトルト食品等を持ち寄ってもらい、福祉団体等に寄付する活動）を実施した。

<実施状況>

実施月	イベント名	実施場所	クイズ参加者数	フードドライブ実績
6月	環境の日「ひろしま」大会	オンライン	2,553回 (アクセス数)	未実施
10月	エコロジーマーケット 環ッハッハinよしじま	中工場	208人	121個（16人参加）
10月	文教祭	広島文教大学他 (全5か所)	未実施	979個（114人参加）
1月	はたちを祝うつどい	サンプラザ	85人	未実施
3月	ぬまたエコ広場	安佐南工場	80人	91個（13人参加）



ウ エコクッキング教室の開催

普段は捨てがちな食材の部位や余った食材を活用した調理方法を紹介するエコクッキング教室を公民館等で開催した。

<実施状況>

- ・ 令和4年度実績：5回
- ・ 合計参加者数：58人



エ 食品ロス削減イベントの開催

食品ロス削減の日（10月30日）に市内中心部で市民を対象としたイベントを開催し、食品ロス削減に関するクイズやパネル展示、フードドライブなどを実施した。

<実施状況>

実施日	イベント名	実施場所	クイズ参加人数	フードドライブ実績
10月30日	スマイル！ひろしま広場	広島駅南口 地下広場	350人	449個（57人参加）



オ 学生と連携したエコクッキングレシピ・動画作成及びエコクッキング教室の開催

市内の学生に食品ロス削減につながるエコクッキングレシピ・動画を作成してもらい、市ホームページ等で紹介するとともに、学生を講師としたエコクッキング教室を開催した。

また、大学祭において学生が主体となり、フードドライブを実施した。

<実施状況>

・ エコクッキングレシピ・動画の作成、エコクッキング教室の開催

令和4年度は安田女子大学と広島文教大学の大学生がエコクッキングレシピを、広島文教大学と広島経済大学の大学生がエコクッキングレシピ動画を作成した。

また、安田女子大学の学生が講師となったエコクッキング教室を2回、広島文教大学の学生が講師となったエコクッキング教室を1回開催した。

・ フードドライブの開催

平成28年度から広島文教大学の大学祭において、学生が主体となりフードドライブを実施しており、令和4年度は114人から979個の食品の提供があった（1-(1)-イの表参照）。



カ 環境講座の実施

家庭ごみの分別・減量・リサイクルや食品ロスの削減をテーマとした環境講座を実施した。

<実施状況>

- ・ 令和4年度実績：25回
- ・ 合計参加者数：562人

キ 啓発パネル等の啓発物品の貸出

ごみの減量・リサイクルや食品ロスの削減をテーマとしたパネルの貸出しを行った。また、幟旗等の啓発物品も貸出しを行っている。

<実施状況>

令和4年度実績（パネル貸出）：7回（イオンモール広島祇園等で使用）



ク ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開

食品ロスの削減を含むごみの減量やリサイクルの方法などを紹介したDVDを作成し、市内の小・中学校における環境教育での活用のほか、市民等に無償で貸し出すとともに、YouTubeへ公開した。

ケ ごみ減量・リサイクルに関するチラシ等の作成

食品ロス削減を含むごみ減量・リサイクルに関するチラシを作成し、町内会等を通じて配布した。
また、市内への転入者等に配付しているごみ出しハンドブック「ひろしまエイト」で、食品ロス削減について周知を行った。

コ 食品ロス削減推進サポーターの育成

地域等において食品ロスの削減を担う人材を育成するため、食や環境問題に一定の知見を有した個人や団体の会員向けの講座の受講を関係団体等に呼び掛け、サポーターの育成を推進した。

※食品ロス削減サポーター制度は、令和4年度に消費者庁が設立。

【参考：本市における食品ロス削減推進サポーター 29人（令和4年度末時点）】

サ 「わたしたちの広島」及び「ごみのおはなし」における周知啓発

小学校3・4年生を対象とした学習教材である「わたしたちの広島」と「ごみのおはなし」に、食品ロスの現状や身近にできる食品ロス削減の取組等を掲載し、周知啓発を行った。

シ フードバンクに関する周知啓発

フードバンクの概要や広島市内で活動するフードバンク団体等について、チラシ・本市HPにより周知を行った。

ス 勉強会の開催

広島市ごみ減量リサイクル実行委員会の開催に併せて、事業者の取組について事例紹介いただく勉強会を開催した。また、以下に加えて令和4年度は中工場の見学も行った。

＜勉強会の内容＞

- ・ 店舗におけるフードドライブの実施について【株式会社イズミ】
- ・ 販売期限等の見直しについて【生活協同組合ひろしま】
- ・ 家庭系廃食用油の店頭回収の実施について【株式会社万惣】

セ フードドライブに関する勉強会の開催

市内で活動するフードバンク団体から、物価高騰などの情勢により個人からの食料支援依頼が増える一方、現状のフードバンクへの寄贈量では十分に賄うことができず、安定的な食糧支援が困難な状況となっているという声が寄せられ、これを受けて、市民団体・事業者・行政で構成されるごみ減量・リサイクル実行委員会のうち食品関連事業者等に呼び掛けて、フードドライブの実施拡大を図るための勉強会を開催した。

＜勉強会の内容＞

- ・ 勉強会趣旨説明及びアンケート集計結果の公表【環境局環境政策課】
- ・ フードドライブ及びフードバンクについて【社会福祉法人正仁会フードバンク事業あいあいねっと】
- ・ フードドライブの事例紹介【株式会社セブン・イレブン・ジャパン】【株式会社フジ・リテイリング】

ソ 食品ロス削減に関する取組の周知啓発

国が実施する「食品ロス削減推進表彰」や「食品ロス削減に取り組む事業者の公表制度」について、市民、事業者等に周知を行った。また、10月の食品ロス削減月間に国が作成したポスターの掲示を行うとともに、各種イベントにおいても掲示した。



タ 生ごみリサイクル講習会の開催

段ボールやミズを用いて家庭で生ごみを堆肥化する方法を紹介する講習会を公民館等で開催した。

＜実施状況＞

- ・ 令和4年度実績：4回
- ・ 合計参加者数：46人



チ 家庭系廃食用油の回収の促進

家庭系廃食用油については、その多くが可燃ごみとして排出・焼却されており、民間事業者等が廃食用油を回収するとごみの減量や飼料化・肥料化によるリサイクルにつながるため、この取組についてホームページやチラシで広報を行った。また、幟旗の配布も行っている。



(2) その他の行政分野での関係施策

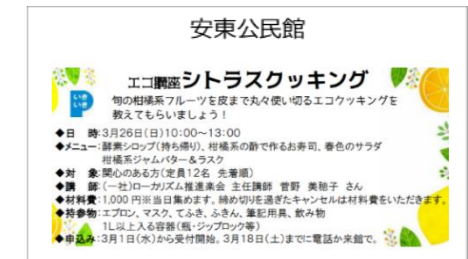
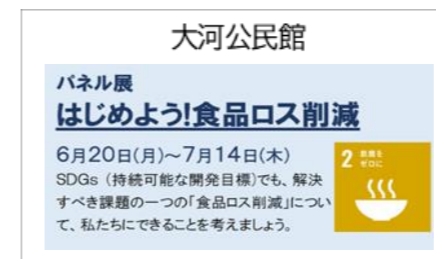
ア エコクッキングの実施等

公民館学習会の「環境問題解決のための事業」等として、エコクッキング等の講座やパネル展示を実施し、食品ロスの削減や、日々の生活の中でできる取組について学び、身近な環境について考える機会を提供した。

＜実施状況＞

- ・ 令和4年度実績：11公民館にて13回（うちパネル展示1回）
- ・ 合計参加者数：165人（パネル展示分除く）

※ 当該実績は「1-(1)-ウ エコクッキング教室の開催」と「1-(1)-キ 啓発パネル等の啓発物品の貸出」のうち公民館への貸出分の実績を含む。



イ エコライフ実践講座の実施等

図書館の「エコライフ実践講座」の一環として、食品ロスについて考える講座を行った。また、SDGsについて学習する小学生を対象とした講座やパネル展示も実施し、食品ロスの削減に向けた実際の行動を促した。

＜実施状況＞

- ・ 令和4年度実績：10回（内訳：エコライフ実践講座1回、小学生を対象とした講座1回、パネル展示8回）
- ・ 合計参加者数：25人（パネル展示分除く）

ウ わ食（和食・輪食・環食）の推進

健全な食生活を実践する市民を増やすため、毎月19日の「わ食の日」を啓発するとともに、様々な機会や場面を活用した3つの「わ食（和食・輪食・環食）」に関する情報提供を行った。

(ア) 広報紙への掲載及びテレビ広報番組の放送

第4次広島市食育推進計画策定の周知と併せて、「わ食の日」及び「3つの『わ食』」を啓発した。

(イ) SNSへの投稿

わ食啓発動画を作成し、毎月19日「わ食の日」に併せて、広島市公式SNS（Twitter、Facebook、LINE）に記事及び動画を投稿した。また、前述の媒体に加えて広島市公式YouTubeにおいて、「和食」や「環食」に関する料理レシピの周知を行った。

(ウ) 各種イベント等での広報

リニューアルした3つの「わ食」を啓発するチラシを、食品ロス削減イベント「スマイル！ひろしま広場」など様々な場面で配布した。

エ 食農推進事業

市内産・新鮮・安心な“ひろしまそだち”産品の消費拡大に向け、市民が気楽に食農体験ができる機会を拡大し、「食」と食を支える「農」に対する理解を深める取組として、食農体験イベントの実施や食農コーディネーターの育成などを行った。

(ア) 食農体験イベントの実施

市民を対象とした栽培から収穫、調理・試食までの体験会を実施した。

<実施状況>

- ・ 令和4年度実績：4回（2品目×2回）
- ・ 延べ参加者数：42人

(イ) 食農コーディネーターの育成及び活動支援

食農体験の企画・運営を行うための人材の育成研修を実施するとともに、フォローアップ研修についても実施した。

これらに加えて“ひろしまそだち”産品情報の提供等も実施した。

<実施状況>

- ・ 令和4年度食農コーディネーターの認定者数：49人
- ・ 食農コーディネーターの活動実績：食農イベント等の実施103回
(市民等の延べ参加者数2,499人)

(ウ) 農産物栽培展示の実施

野菜や水稲の栽培展示を実施した。

<実施状況>

令和4年度実績：6か所（区役所、小学校及び民間施設等）

(エ) 「食」と「農」に関する授業の実施

小学校が実施する農作物の栽培等について、市職員や農家を講師として派遣した。

<実施状況>

令和4年度実績：11回（市内小学校8校）

オ 食育リーフレットの作成

学校における食育を推進するため、栄養バランスの良い食事や望ましい生活習慣、食文化、地産地消、食品ロスの削減など、小学1年生から中学3年生までの各学年の学習内容に応じたテーマで食育リーフレットを作成し、これを活用した食育の指導を行うこととしており、令和4年度は全中学校の2年生に食品ロスをテーマとしたリーフレットを配付した。

また、リーフレットは保護者向けの内容も掲載しており、家庭への啓発も図った。

<記載内容>

表面（生徒向け）：日本はたくさんの食料を輸入している一方で食品廃棄も多いこと、また食料自給率をあげることや食品ロスを減らすことが重要であることを紹介するとともに、食品ロスを減らすためにできることを記載した。

裏面（保護者向け）：エコクッキングやフードマイレージ（食料の輸送量に輸送距離をかけた指標）について紹介した。



カ 学校における各教科の指導の充実

発達段階に応じて、食品ロスへの理解の醸成やその削減に向け主体的な行動を促すことを目的に、各教科等の学習活動を通じて指導を行った。

<小学校における教育活動>

社会科：本市独自の学習教材である「わたしたちの広島」に掲載している、環境局が市民を対象として実施している食品ロスを減らす「スマイル！ひろしま」キャンペーンについて調べ、考える学習活動などを行った。

家庭科：調理実習を行う際、事前に地産地消や食品ロスについて調べて考える学習を行った上で、野菜の皮むきや食べ残しを少なくするための切り方を工夫する学習活動などを行った。

<中学校における教育活動>

社会科：世界の貧困問題について学習する際に、先進国の食品ロスの現状から貧困の起こる理由を考察し、自分に何ができるかを考える学習活動などを行った。

技術・家庭科（家庭分野）：調理について学習する際に、食品ロスや食料自給率等の現状について調べた上で、持続可能な食生活のためにどのような工夫をすることができるかを考える学習活動などを行った。

<高等学校における教育活動>

地理歴史科：食料問題について学習する際に、発展途上国の貧困や飢餓、先進国の食品ロスなどの食料問題の解決に向けて、各国あるいは国際的にどのような取組をすべきかを考察する学習活動などを行った。

家庭科：調理について学習する際に、フードマイレージなど環境に配慮した調理を実践するとともに、食品ロスや食料自給率等の現状を踏まえ、持続可能な食生活のためにどのような工夫をすることができるかを考える学習活動などを行った。

<学校独自の取組>

広島商業高等学校では、毎年12月に開催しているピースデパートにおいて、エシカル消費の啓発として地域企業と協同で行う地産地消の商品の販売や食品ロスの削減を来場者に提案するなどの取組を行った。

キ エシカル消費の普及啓発

一人一人の消費行動が、人や社会、環境に影響を及ぼすことに配慮して、消費者が自主的かつ合理的な消費行動を行うことができるよう、エシカル消費に関する意識を高めるための情報提供や啓発活動等を実施した。

(ア) 展示ブースへの出展

マツダスタジアムのイベントブースにてエシカル消費（食品ロス削減含む）に関するパネル展示とチラシ配布を行った。

- (イ) テレビ広報番組の放送
カープ家のひろしま生活+にて「エシカル消費をしてみよう」と題し、エシカル消費の実践例とし食品ロス削減を取り上げた。
- (ウ) 広報紙への掲載
消費生活センター発行の消費生活情報紙「知っ得なっとく」にて、食品ロスや寄付付き商品に着目した研究を行った市商高校のエシカル甲子園での発表について掲載した。
- (エ) ポップ・チラシの作成・配布
「食品リサイクル・ループ」のポップ・チラシを作成するとともに配布した。また、「てまえどり」ポップについても配布した。

5 事業系生ごみの減量に関する施策の実施状況

(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策

ア 「食品ロス削減協力店」の登録・PR

量り売りや小分け売りなどに取り組む小売店等と料理の食べきりなどに取り組む飲食店や宿泊施設を「食品ロス削減協力店」として登録し、市ホームページでPRするとともに、ポスターやステッカーの配布、幟旗の掲出を行った。
 <登録店舗数（令和5年2月7日現在）>
 計661店舗（内訳：飲食店・宿泊施設228店舗、小売店等433店舗）



イ スーパーマーケット等と連携した「てまえどり運動」の実施

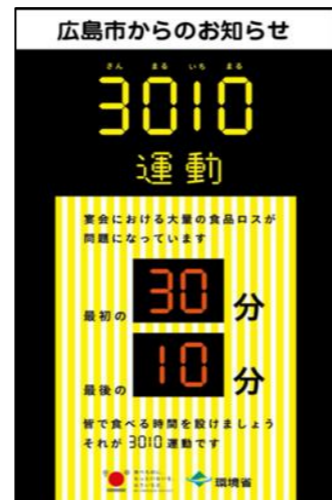
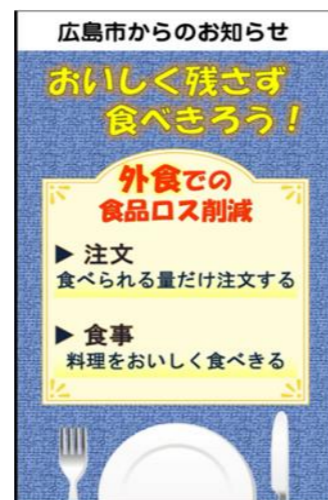
販売期限が過ぎて廃棄される食品が削減されるよう、買ってすぐ食べる場合に、商品棚の手前に並べられている消費期限・賞味期限が近い商品や値引き商品を積極的に選ぶ「てまえどり」を呼びかける運動を実施した。
 <実施内容>

食品ロス削減協力店のうち小売店等において、「てまえどり」を呼びかけるポップやポスターを掲示するとともに、店内アナウンスを行うよう、取組を進めた。



ウ 外食時の食品ロス削減の推進

外食時には食べられる量だけを注文し、料理をおいしく食べることや、宴会において、最初の30分と最後の10分は料理を楽しむことで、食べ残しを減らす「3010運動」（さんまるいちまる運動）について、市ホームページを活用した周知を行った。



エ 環境講座の実施（再掲）

オ フードバンクに関する周知啓発（再掲）

カ 食品ロス削減推進サポーターの育成（再掲）

キ 勉強会の開催（再掲）

(2) その他の行政分野での関係施策

ア 商品寄贈による社会福祉貢献活動

令和5年3月16日に株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下「セブン-イレブン」という。）、広島市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）、本市との間で「商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」を締結し、この協定の下、セブン-イレブンの県内店舗の閉店・改装時の在庫商品について、市社協への寄贈を通じて、NPO法人やボランティア団体等の福祉活動団体等に無償提供することにより、福祉活動団体等の支援・育成を通じた福祉活動の促進や生活困窮者等への支援に取り組んでおり、本市としてもその広報活動を担うなど取組の支援を行った。

<実施状況>

令和4年度実績：3月17日に第1回目となる商品寄贈（段ボール箱11箱分）があり、子ども食堂を運営するボランティア団体等に無償提供した。

イ 6次産業化サポート事業

6次産業化に取り組む農業者、林業者を支援するため、農林産物の加工品製造研修の実施、パッケージデザインや販路開拓などに係るアドバイザーの派遣等を行った。また、アドバイザー派遣により、自社の農産物を使用した加工品の開発等の支援し、規格外等の農産物の有効活用にも繋げた。

<実施状況>

令和4年度実績（派遣回数）：5回

ウ エシカル消費の普及啓発（再掲）

エ わ食（和食・輪食・環食）の推進（再掲）

オ 食農推進事業（再掲）

カ 食育リーフレットの作成（再掲）

キ 学校における各教科の指導の充実（再掲）

6 事業系生ごみのリサイクルの促進に関する施策の実施状況

(1) 食品ロス削減推進計画に基づく施策

ア 食品リサイクル・ループ形成に向けた取組

食品リサイクル・ループとは、どうしても出てしまう調理くず（野菜の皮や芯、魚のあら、卵の殻など）や食品ロスを肥料や飼料にリサイクルし、その肥料や飼料を使って野菜や魚などを育てる循環型のモデルのことである。

令和4年度には「食品リサイクルループ」の認知度向上に向け、PR用の本市オリジナルのロゴ作成やこのロゴを使用したポップやチラシを作成し、事業者に提供した。また、町内会等を通じて配布するごみ減量啓発チラシやひろしま市民と市政（令和5年3月15日号）にもこの取組を掲載した。



イ 食品リサイクル施設の周知

本市ホームページに近隣市町の食品リサイクル施設を掲載し、食品関連事業者に周知を図った。